

遠山邸大広間

端午の節句飾り

4/11(水)-5/6(日)



4/1(日)-5/13(日)

リニューアル記念特別展

遠山元一と美術

後援：SMBC日興証券

昭和45年、日興証券(現・SMBC日興証券)創業者である遠山元一は、郷里の川島町に私立美術館「遠山記念館」を開館させました。所蔵品は邸宅に飾られた日本や中国の古美術のみならず、アンデスやエジプトの美術、また彫刻家の荻原守衛の作品など多岐にわたります。美術館のリニューアルを記念した本展では、当館所蔵の作品を通じて、元一の人間像を紹介いたします。



5/19(土)-7/1(日)

コレクション名品選 1

黒田清輝「裸婦習作」と近代絵画

黒田清輝の油彩画「裸婦習作」。アトリエの裸婦を描いたこの習作は、黒田がフランスで師コランのもと、油彩画を学んでいく過程を垣間見ることのできる貴重な作品です。傷みがひどく、修復が待ち望まれていましたが、昨年、ようやく本来の暖かみのある明るい色彩を取り戻しました。“復活した裸婦像”のお披露目をメインに、菱田春草、横山大観、安田靉彦など、当館が所蔵する日本の近代絵画から優品を選びすぐって展観いたします。



遠山邸 2階

春の公開日

4/22(日)

5/26(土)

6/9(土)



7/14(土)-10/8(月・祝)

コレクション名品選 2

きらめくガラスと陶磁の美

エジプトやイラン、シリアなどのガラスと、日本・中国及び中近東・中南米のやきものの器類を中心に展観します。ポップで涼しげな古代ガラスの香油瓶や、吉祥や四季の風情を盛り込んだ陶磁器の鉢、そして来世へ旅立つ人へ奉げたユニークな土器などもあわせて、その装飾や文様などからそれらを生み出した文化的背景や人々の思いを辿っていきます。



秋の公開日

9/23(日)

10/27(土)

11/23(金・祝)

10/23(火)-12/9(日)

コレクション名品選 3

遠山邸の調度と漆器

遠山邸竣工に際して、さまざまな調度や工芸品が集められました。指物師である前田南斎に注文された木製の調度類、また「秋野蒔絵手箱」に代表される漆器の名品は、遠山元一の美意識を今に伝えています。遠山コレクションより、そうした調度類を一堂に会して展示いたします。



遠山邸大広間

雛壇飾り

2/9(土)-3/17(日)



2019

2/9(土)-3/17(日)

コレクション名品選 4

琳派と雛

琳派と雛のコラボレーション。いずれも京で誕生・発展し、江戸にもたらされると、雅で華やかな芸術・文化として開花しました。俵屋宗達、尾形光琳・乾山、また江戸琳派である酒井抱一、鈴木其一などの作品を、享保雛、次郎左衛門雛や江戸雛である古今雛とともに展示致します。同一空間の中、お互いがどのように響きあうか、ぜひご期待下さい。



開館時間 午前10:00 ~ 午後4:30(入館は4:00まで)

入館料 4/1-5/13 大人1000円(800円) 学生700円(560円)

通常 大人 700円(560円) 学生500円(400円)

中学生以下は無料、()は団体料金です。

休館日 月曜日(祝祭日の場合は開館、翌日休館)

また下記の日臨時休館をいただきます。

4/10(火), 5/8(火), 10/20(土), 10/21(日)

12/21(金)-2019/1/6(日), 2/8(金), 3/19(火)